資料３－１

CRLけいはんなオープンラボ研究推進協議会
運営･研究部会活動報告・計画

平成16年5月19日

CRLけいはんなオープンラボ研究推進協議会事務局

けいはんなオープンラボ研究推進協議会の活動体制

平成１６年５月１０日現在

協議会総会　(会員数100者)
理事長　井植　　敏(三洋電機会長)
副理事長　松下　正幸(松下電器産業副会長)

理事会　(理事長、副理事長、理事25名、監事2名)

事務局　(関経連、情報通信研究機構、近畿総合通信局、学研都市推進構)

運営･研究部会　(構成員数53者)
部会長: 吉年　慶一(三洋電機)
幹　事:中山、一木(事務局)

- 企画･広報分科会
  リーダー:楠木　久継(NTTコム)
- 高機能ネットワーク分科会
  リーダー:北山　研一(大阪大教授)
  - 相互接続性検証WG
    主査:山中(慶応義塾大教授)
    副主査:鈴木(KDDI研)岡本(NTT)
  - フォトニックWG
    主査:楠木(NTTコム)
  - Grid･アプリケーションWG
    主査:高田(NEC)
- ヒューマンコミュニケーション分科会
  リーダー:木戸出　正繼(奈良先端大教授)
  - コンテンツ融合環境WG
    主査:柿元(富士通研)
  - ユニバーサルユーザ利用環境WG
    主査:丸野(松下電器)
  - 言語情報活用システムWG
    主査:中井(沖電気)

運営･研究部会のスケジュール

	平成16年度 4月	7月	10月	1月	平成17年度 4月
協議会総会	▲ 第3回総会5/19				▲ 第4回総会4月予定
運営･研究部会	△ 第5回部会　4/21 →	→	△ 第6回部会	10月予定	△ 第7回部会4月予定
	研究開発プロジェクトの企画		研究活動への支援		
分科会	△ →	→	→	→	→
	企画･広報分科会：研究開発プロジェクトの企画、研究交流，研究活動推進を支援				
	▲ →	→	→	→	→
		研究系分科会：研究開発プロジェクトの推進等			
研究開発プロジェクト	→	→	→	→	→
	研究活動開始				
(参考) 施設整備，広報等	★ オープンテストベッド 環境整備報道発表		★ 協議会主催 シンポ開催		

企画・広報分科会活動報告・計画

企画･広報分科会の活動方針

○　分科会の構成（敬称略）

リーダー	楠木　久継	（ＮＴＴコミュニケーションズ 部長）
サブリーダー	泉　　次郎	（ＫＤＤＩ 部長）
	太田　　修	（三洋電機 担当上席部長）
	岡　　秀幸	（松下電器産業 グループリーダー）

○　分科会の活動概要

●創造系活動
- ・定期的な会員への研究ニーズ調査、内外の動向調査
- ・NICTからの提案に基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

●促進系活動
- ・定期的な「コンソーシアム連絡会」開催による各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産官学連携促進
- ・都市産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

●整備系活動
- ・研究開発整備要望など研究活動推進

企画･広報分科会の活動状況

○　これまでの分科会活動

- 第１回分科会会合（7/30　関経連 中会議室）
  - ・平成１５年度企画・広報分科会の活動（案）について
    - 企画・広報分科会の平成１５年度スケジュールについて
    - コンソーシアム連絡会の開催について
    - 研究環境整備要望のルール化について
  - ・その他意見交換
    - 新テーマ創出に向けて
    - 研究系分科会、関係機関・団体との連携
- 第２回分科会会合（4/16　関経連 中会議室）
  - ・平成１５年度活動報告・平成１６年度計画（案）について
    - 広報活動
    - 協議会の名称変更（案）について
- 第１回コンソーシアム連絡会会合（10/29 けいはんなオープンラボ大画面実験室）
  - ・コンソーシアム連絡会について
  - ・研究系分科会 各ＷＧ活動計画・内容報告
  - ・その他意見交換
    - 次回以降のコンソーシアム連絡会のテーマについて
    - 協議会（企画広報分科会）活動に対する意見・要望
- 第２回コンソーシアム連絡会会合（2/13 けいはんなオープンラボ大画面実験室）
  - ・講演「地域における産学官連携プロジェクトについて」
  - ・関西の自治体における実証実験フィールドのご紹介
  - ・総務省の平成１６年度予算について

企画･広報分科会の活動実績（平成15年度）

	平成１５年 ７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	平成１６年 １月	２月	３月
企画・広報分科会	○ 第１回(7/30)								
コンソーシアム 連絡会 （新テーマ探求含む）				△ 第１回(10/29)				△ 第２回(2/13)	
広報活動	→	→	→	→	△ Web掲載(第１回連絡会資料)	→	△ CRL News①メール送付(1/14)	△ Web掲載(第２回連絡会資料)	→
シンポジウム							□ CRLとの共催(1/29-30) （コンピュータを利用した創造・連携・協調に関する国際会議）		
研究環境開発要望 （メール等活用）	→	△ ルール周知 要望募集(8/18)	→	→	随時メールにて受付	→	→	→	→
【オープンラボ関連】	→	→	→	○ (10/18)第４回運営・研究部会 協議会事務局随時開催（月１回程度）	→	→	→	→	→

企画･広報分科会の活動スケジュール（平成16年度）

	平成１６年 ４月　５月　６月	７月　８月　９月	10月　11月　12月	平成１７年 １月　２月　３月
企画・広報分科会	○ 第１回		○ 第２回	
コンソーシアム連絡会	△ 第１回	△ 第２回		△ 第３回
		新テーマ創出・予算要望に向けた情報収集・意見交換の実施（随時）		
広報活動				
		随時発表（Webサイト＆ CRL Newsメール送付）		
シンポジウム			□ 協議会主催シンポジウム	
		研究系分科会等と連携したシンポジウム実施（随時）		
研究環境開発要望		随時受付（メール等）		
	△ 要望提案 会員募集		△ 分科会報告	
【オープンラボ関連】	○ 第５回運営・研究部会 ○ 第３回協議会総会		○ 第６回運営・研究部会	
		ＣＲＬ協議会事務局打合せ随時開催（月１回程度）		

注１：第２回以降の企画・広報分科会については、分科会設置要綱第4条3項により、場合により書面、Ｅメール等による開催とする。
注２：第６回運営・研究部会のスケジュールは案ベース

高機能ネットワーク分科会活動報告・計画

高機能ネットワーク分科会の活動方針

○　分科会の構成

リーダー　　：北山　研一（大阪大学　教授）
サブリーダー：山中　直明（慶應義塾大学　教授）
　　鈴木　正敏（KDDI研究所　執行役員）
　　岡本　聡　（NTTネットワークサービスシステム研究所　主任研究員）
　　楠木　久継（NTTコミュニケーションズ　部長）
　　高田　俊和（NEC基礎研究所　主席研究員）

○　WGの設置と主な活動目標

●相互接続性検証WG（主査：山中、副主査：鈴木、岡本）
　キャリア間／AS間インタフェース（E-NNI）の相互接続性の検証
　日本発の技術を共同開発し、国際標準へ向けて提案
　世界初のGMPLSの広域接続実験とオープンサイトの形成

●フォトニックWG（主査：楠木）
　幹線系及びアクセス系ネットワーク並びにインターネットにおける情報伝達機能を光領域で行う技術について実証実験を実施

● グリッド・アプリケーションWG（主査：高田）
　高機能ＮＷ社会を創出するアプリケーションソフトウエアの研究開発
　高速・高機能ＮＷでの実証実験を通してアプリケーションの有効性追求
　広域接続実証実験の検討及び国際フォーラムなどへ寄与

高機能ネットワーク分科会の活動概要

○ 分科会の活動概要

–プロジェクトのサポート、各WG・プロジェクト間の連携･交流の推進

–共同研究や研究会のプロモーション、学会研究会と連携した研究成果の公表の推進

–新規テーマの創出、将来的課題の実現に向けた企画･検討

○ これまでの分科会活動

・会合

– 第１回分科会会合（5/29　関経連 中会議室）
  - 運営・研究部会（第３回）報告
  - 高機能ネットワーク分科会活動報告
  - WG活動報告
– 第２回分科会会合（10/30　関経連 291号室）
  - 経過報告
  - ワーキンググループおよび個別プロジェクト活動状況報告
  - 運営・研究部会への活動報告案について
  - コンソーシアム連絡会について
– 第３回分科会会合（3/30　CRLけいはんな大画面実験室）
  - 今年度の活動経過報告および平成16年度の活動計画について
  - ワーキンググループおよび個別プロジェクト活動状況報告
  - 運営・研究部会および総会への対応について

・行事等

–開所式（6/13）

–開所式デモ実験（PIL, KDDI）（6/12-13）

–CRL研究発表会（7/1）

–大臣来所（8/25）

–第3回分科会施設見学会(3/30)

–第5回運営･研究部会施設見学会(4/21)

高機能ネットワーク分科会の活動実績（平成15年度）

	4月	7月	10月	1月
高機能ネットワーク分科会	△ (5/29)分科会設置 (分科会会合1)	△ (8/21)事務局打ち合わせ	△ (10/30)分科会会合2	△ 年次報告
相互接続性検証WG	△ (4/3)WG会合1 △ (6/4)WG会合2 (6/12-13)SPJ1,SPJ2実験 (6/26-27, 6/30-7/4)PJ1,SPJ1,SPJ2	△ (8/21)WG会合3 (9/16-9/19)PJ1,SPJ1,SPJ2	メールなどにより随時情報交換を行う (11/25-28)PJ1実験	△ (3/10)WG会合4 △ 年次報告 (2/3-6)PJ1実験
フォトニックWG	△ (6/10)WG会合1		メールなどにより随時情報交換を行う (11/10-11/14)p5 実験(NTT-PF)	△ (3/10)第2回会会合 △ 年次報告 (1/19-1/23)p1実験(NTT) (1/19-1/23)p2実験(富士通) (1/19-1/23)p5実験(日立) (2/3-2/6)p5実験(富士通) (2/4-2/6)p5実験(NEC) (3/1-3/5)p3・4実験(富士通、NTT)
グリッド・アプリケーションWG		△ (7/3)WG会合1	メールなどにより随時情報交換を行う	△ (3/26)WG会合2 △ 年次報告
個別プロジェクト	(6/9-6/24)k1ラボ実験	(8/18-10/21)k1ラボ実験		△ 年次報告
オープンラボ関連の動き	(6/13)開所式 (4/17)運営・研究部会(第3回)	(7/1)CRL研究発表会 (8/25)大臣来所 (7/30)企画・広報部会(第1回)	(10/29)コンソーシアム連絡会(第1回) (11/19)運営・研究部会(第4回) (10月末)相互接続WG共同研究契約成立	(2/13)コンソーシアム連絡会(第2回)

高機能ネットワーク分科会の活動スケジュール（平成16年度）

	4月	7月	10月	1月
高機能ネットワーク分科会				
相互接続性検証WG	△ WG会合5 PJ1実験	△ WG会合6 PJ1実験 PJ4 NW実験	△ WG会合7 メールなどにより時情報交換を行う PJ1実験 PJ2相互接続実験	△ WG会合8 △ 年次報告 PJ1実験
フォトニックWG	(6月頃)p5実験(NTT)	(7月頃)p5実験(富士通、NEC) (7月~8月頃)p3･4実験(富士通、NTT) (第2~3四半期)実験(日立ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ)	メールなどにより随時情報交換を行う (下期)p1･2実験(NTT、富士通) (下期)p5実験(富士通) (下期)p5実験(日立) (秋頃)p5実験(NEC)	△ 年次報告 (第4四半期)p3･4実験(富士通、NTT、阪大、東大) (第4四半期)実験(沖電気)
グリッド･アプリケーションWG		△ WG会合3	メールなどにより随時情報交換を行う	△ WG会合4 △ 年次報告
個別プロジェクト	(5月初旬～6月中旬)k2実験 (5月初旬～6月中旬)k3実験 (6月中旬～8月中旬)k1実験		(下期)k2実験 (下期)k3実験	△ 年次報告
オープンラボ関連の動き				

オープンラボ利用プロジェクト一覧

<相互接続性検証WG>

PJ1：標準GMPLS相互接続性検証プロジェクト
PJ2：キャリア間接続　物理インタフェイス開発検証プロジェクト
PJ3：キャリア間接続　論理インタフェイス開発検証プロジェクト
PJ4：Nation Wide GMPLS網構築プロジェクト
SPJ1：拡張GMPLSプロトコルに関する広域接続性検証
SPJ2：GMPLSを用いたIPv6ルータ間相互接続検証プロジェクト
SPJ3：GMPLSキャリア網モデル化に関する研究

<フォトニックWG>

p1：フォトニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発（NTT）
p2：フォトニックネットワークに関する光アクセス網高速広帯域通信技術の研究開発（富士通）
p3：光バーストスイッチングを用いたフォトニックネットワーク技術の研究開発（NTT）
p4：光バーストスイッチングを用いたフォトニックネットワーク技術の研究開発（富士通）
p5：テラビット級スーパーネットワーク技術の実証実験

<グリッド・アプリケーションWG>

・IPv6/IPsecに準拠したGRID対応通信技術の開発
・グリッドネットワーク上での高精細映像伝送システムの開発
・光ネットワークの特性を利用した新しいユーザ主導型サービスモデルの研究
・高速ネットワークを用いたサービスアプリケーション構築手法の研究開発

<個別プロジェクト>

k1：高機能光分岐挿入ノード
k2：光符号拡散多重技術を用いた光通信システムに関する研究
k3：時空間光信号処理を用いた超高速ラベル認識に関する研究

ヒューマンコミュニケーション分科会
活動報告・計画

ヒューマンコミュニケーション分科会の構成

○　分科会の構成

リーダー　　木戸出　正継 (奈良先端科学技術大学院大学　教授)
サブリーダー　　柿元俊博（富士通研）
　　丸野　進（松下電器）
　　中井　敏久（沖電気）

○　WGの構成

・コンテンツ融合環境WG　　主査　柿元俊博（富士通研）
・ユニバーサルユーザ利用環境WG　主査　丸野　進（松下電器）
・言語活用システムWG　　主査　中井　敏久（沖電気）

ヒューマンコミュニケーション分科会の活動実績（平成15年度）

	4月	7月	10月	1月
ヒューマンコミュニケーション分科会	△ 分科会設置		△ （10/2）第1回分科会	
コンテンツ融合環境WG		△ （9/8）WG会合	メールなどにより随時情報交換を行う	△ （1/29）WG会合 △ 年次報告
ユニバーサルユーザ利用環境WG		WG会合，及び実務検討会を頻繁に実施（月日は省略）	メールなどにより随時情報交換を行う	△ 年次報告
言語情報活用システムWG		△ （7/29）WG会合 △ （9/17）WG会合	△ （11/5）WG会合	△ （1/14）WG会合 △ 年次報告
オープンラボ関連の動き	（6/13）開所式 （4/17）運営・研究部会（第3回）	（7/1）CRL研究発表会 （8/25）大臣来所 （7/30）企画・広報部会（第1回）	（10/29）コンソーシアム連絡会（第1回） （11/19）運営・研究部会（第4回） （10月末）相互接続WG共同研究契約成立	（2/13）コンソーシアム連絡会（第2回）

ヒューマンコミュニケーション分科会の活動スケジュール（平成16年度）

	4月	7月	10月	1月
ヒューマンコミュニケーション分科会	△ 第2回分科会		△ 国際会議	
コンテンツ融合環境WG	△ WG会合	原則として4ヵ月に1回開催予定	メールなどにより随時情報交換を行う	△ 年次報告
ユニバーサルユーザ利用環境WG		WG会合，及び実務検討会を頻繁に実施	メールなどにより随時情報交換を行う	△ 年次報告
言語情報活用システムWG	△ （4/6WG会合	年数回開催予定	メールなどにより随時情報交換を行う	△ 年次報告
オープンラボ関連の動き				

コンテンツ融合環境WG

WGの活動方針

活動目標

●コンテンツ融合環境に関する情報交換，意見交換
●コンテンツ融合環境の研究推進に必要な利用環境充実に向けた提案
共有コンテンツの提案，共同研究の場の提供など

体制

主査：　柿元俊博（富士通研究所）
メンバー：西日本電信電話㈱，日本原子力研究所，㈱野村総合研究所，富士通㈱，
㈱富士通研究所，三菱電機㈱，㈱リコー，㈱アドバンスコープ，他数社参加予定
大阪大学大学院（個人登録3名）
NiCT（メディアインタラクショングループ）　【平成16年4月12日現在】

活動状況（主なトピックス）

2003年7月～9月：WGメンバーの募集
2003年9月8日　第1回　コンテンツ融合環境WG　上記活動目標とスケジュールを決定
2004年1月29日　第2回　コンテンツ融合環境WG
・外部コンテンツの利用に関する議論を実施。eJapan戦略Ⅱの追い風もあるが，直ぐには解決できない課題があるため，継続的に検討していくことになった。（コンテンツ借用における問題，著作権の問題など）
・「第2回コンピュータを利用した創造・連携・協調に関する国際会議」への参加

今後の活動スケジュール

・次回，2004年5月の予定（原則として4ヵ月に1回開催予定）。

コンテンツ融合環境プロジェクト

平成15年度活動状況

体制

プロジェクトリーダー：　田中克己（京都大学／NiCT）

メンバー：　門林理恵子，灘本明代，熊本忠彦，宮森恒，河合由起子，官上大輔（NiCT）

活動状況（主なトピックス）

平成16年1月下旬
第2回コンピュータを利用した創造・連携・協調に関する国際会議（C5国際会議：Int. Conf. on Creating, Connecting and Collaborating through Computing）を共同開催

平成16年3月
野村総研，NHK技研，リコーとそれぞれ共同研究契約（計3件）を締結

平成16年4月
メディアインタラクショングループ大幅増員（主任研究員1名，専攻研究員：長期7名，短期1名）

首都大学東京，米Viewpoint Research Institute（アランケイグループ）への委託研究に向けて調整中

中国北京での国際フォーラム開催を計画中（今秋）

コンテンツ融合環境プロジェクト

平成16年度～平成17年度の研究計画

課題名	H16年度	H17年度
ウェブのセマンティクスに基づくユーザの個人性を考慮したコンテンツ融合	システム設計 基本検討	プロトタイプ開発，システムの評価・改良 システム公開
3次元空間に基づくデジタルアーカイブ生成・検索技術	プロトタイプシステム構築、評価	システムの改良と最終評価
異メディアコンテンツのウェブ化と統合的閲覧方式に関する研究開発	プロトタイプ改良 課題抽出	実証実験 システム公開
Webコンテンツの受動的視聴システム	システム設計 プロトタイプ開発	改良 実証実験 システム公開
コンテンツ融合方式と統合コンテンツ閲覧・視聴システム	システム設計 プロトタイプ開発	改良 実証実験 システム公開

コンテンツ融合環境プロジェクト

平成16年度～平成17年度の研究計画

課題名	H16年度	H17年度
クロスメディア検索可能な WebQAシステムの研究開発	仕様設計・要素技術の開発	実証実験と改良 プロトタイプ開発
ユビキタスコンテンツ環境	システム設計 プロトタイプ開発	システム改良　実証実験　システム公開
メタデータ抽出と クロスメディア検索	仕様設計・要素技術の開発	実証実験と改良 プロトタイプ開発
マルチメディア・コンテンツ 検索精度・信用度向上技術	プロトタイプ開発，検証実験	改良　システム公開

ユニバーサルユーザ利用環境WG

WGの活動方針

●様々なユーザ利用環境に適した情報通信基盤技術の実証型研究開発プロジェクトの提案

●ユニバーサルインタフェース・ユビキタス環境研究コミュニティの提案

体制

主査　丸野　進(松下電器)

メンバー

三洋電機、東芝、日本電気、松下電器産業、楽墨堂、三菱電機、ＣＳＫ、とめ研究所
京都大学、同志社大学、大阪工業大学、立命館大学、マイクロシグナル、野村総合研究所
情報通信研究機構(NICT)

活動状況（主なトピックス）

・2003年10月　WG中間答申を、CRLオープンラボ協議会HC分科会へ答申（10/2）

・～2004年3月　答申を受けて、NICTにて、プロジェクト活動、
オープンラボ施設整備（ユビキタスホーム）

・2004年4月　第三回WG開催(4/14)

- 答申を受けてのオープンラボ施設、プロジェクトについて報告
- 2004年度のWG活動について

今後の活動スケジュール

新規テーマの創出、オープンラボ施設利用等について議論し答申を行う

ユニバーサルユーザ利用環境プロジェクト

平成15年度活動状況

体制

プロジェクトリーダー：　美濃導彦（京大／NICT）

メンバー（準備中を含む）：東芝，NEC，三洋電機，京都大学，奈良先端科学技術大学院大学，大阪工業大学，同志社大学，立命館大学，和歌山大学，東京大学，NICT

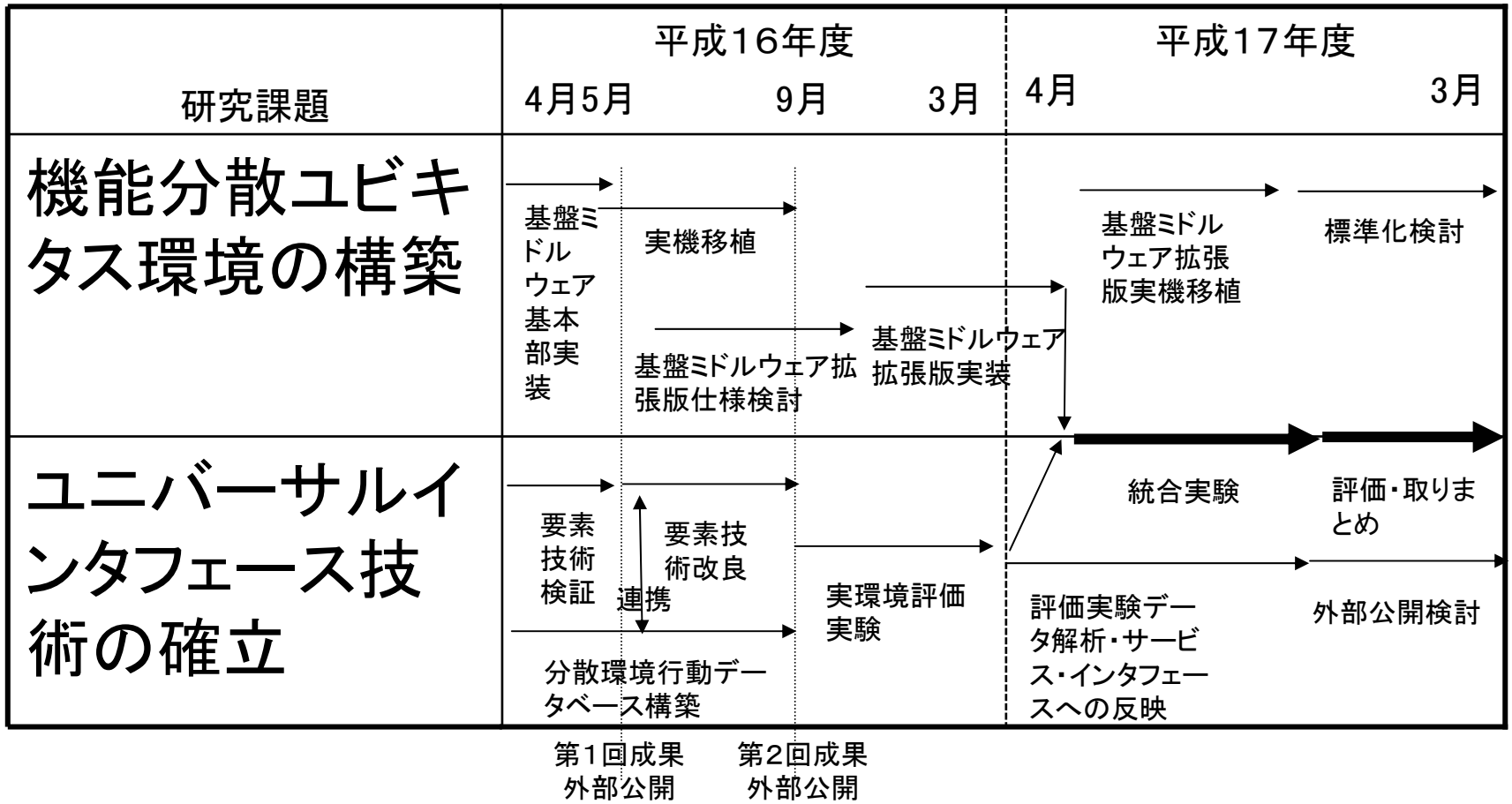
活動状況（主なトピックス）

・プロジェクト全体会議を月１回の割合で開催している．さらに，各課題に対して検討グループを設置し，各グループが週１回の割合で検討している．
・２００４年３月にプロジェクト関連の研究発表を，情報処理学会全国大会で１６件，電子情報通信学会総合大会で４件行った．
・実証実験環境となる「ユビキタスホーム」が竣工した．
・５月中旬の外部への成果公開のため，機能分散協調基盤ミドルウェアと実証サービスのデモを構築中である．

ユニバーサルユーザ利用環境プロジェクト

平成16年度～平成17年度の研究計画

基盤ミドルウェア＝機能分散協調基盤ミドルウェア



言語情報活用WG

WGの活動目標

●豊富な言語資源と高度な言語処理技術を利用した言語情報活用システム研究開発プロジェクトの提案
●言語処理研究コミュニティの形成

体制

主査：　　中井敏久(沖電気)
メンバー：富士通、シャープ、TIS，リコー、日本原子力研究所、沖電気、NICT

活動状況（主なトピックス）

・技術交流会の開催（4 回 ）
　　－「ユーザインタフェースと自然言語処理の融合」（TIS)
　　－「読解機構の分析について」（シャープ）
　　－「大規模非定型文書からの情報抽出」(沖電気)
　　－「機械学習を用いた機械翻訳用モダリティコーパスの修正」（NICT）
　　－「翻訳支援システムのご紹介」（富士通）
　　－「IJCNLP04参加報告及び在北京日米研究所訪問報告」（沖電気）
・新規共同研究テーマの検討　（１件）
　　「技術資料・論文からのデータベースの構築」
　　→　成果のビジネス展開が不明確なためペンディング

今後の活動スケジュール

・継続的技術交流会の開催

言語情報活用システムプロジェクト

平成15年度活動状況

体制

プロジェクトリーダー：　井佐原均（NICT）

メンバー：富士通，シャープ，TIS，リコー，日本原子力研究所，沖電気，NICT

活動状況（主なトピックス）

・NICT研究員と，オープンラボに常駐している他機関からのプロジェクトメンバーで定常的にディスカッションを行っている。(TIS, シャープ, 沖電気）

・学会発表（言語処理学会年次大会）
Document Catcher: 色情報の心理的効果を用いた文書読解支援インタフェース (TIS, NICT)
読解過程検定システムの構築 (シャープ, NICT)
論文誌採録予定 (シャープ, NICT)
他に国際会議に投稿中。

・NICTと日本原子力研究所との間の共同研究契約締結手続き中。

・秋に、北京及び香港において、国際フォーラム開催を計画。

言語情報活用システムプロジェクト

平成16年度～平成17年度の研究計画

課題名	H16年度	H17年度
文書読解支援インタフェースの構築	仕様設計	プロトタイプ開発
英文読解に関する研究	被験者実験・分析	支援手法の検討
大規模非定型文書からの情報抽出の研究	基盤ツールの開発	実システムへの実装
翻訳支援環境の研究	支援要素の検討	基盤技術の開発